



知基第208号  
令和3年9月3日

AAFES太平洋管区本部司令官代理  
ラネル ピケット 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



### 在沖米軍属による強制性交等未遂事件について（抗議）

令和3年4月17日午前5時50分頃、沖縄本島中部の路上において強制性交等未遂事件が発生し、7月30日、在沖米軍属が被疑者として検挙されました。

同被疑者は、面識のない被害者に対し強制的に性交等しようとしたところ、被害者に抵抗されたため未遂となったものであります。また、同月15日には、捜査のために訪れた警察官に対する公務執行妨害容疑でも検挙されております。

このような非人間的で卑劣な犯罪は、基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に強い不安を与えるだけでなく、女性の人権を蹂躪するものであり、断じて許せるものではなく強い怒りを覚えるものであります。

これまで、今年1月に発生した那覇市における強制わいせつ事件など、米軍関係者による事件・事故が発生する度に県などが抗議要請を行っているにもかかわらず、このような事件が発生したことは、在沖米軍及び被疑者の所属するAAFESの教育や管理体制が不十分であると言わざるを得ません。

ついては、このような事件が二度と起きないように、下記の事項について強く要請します。

#### 記

- 1 軍属を含めた従業員の教育や管理を徹底し、より実効性のある再発防止策を早急に講ずるとともに、その内容を県民に公表すること。
- 2 日米地位協定の対象者である軍属等に対してもリバティ制度を適用すること。
- 3 被害者への謝罪とともに、県警察による捜査への協力に万全を期すこと。
- 4 被害者に対する適切な補償を遅滞なく実施すること。